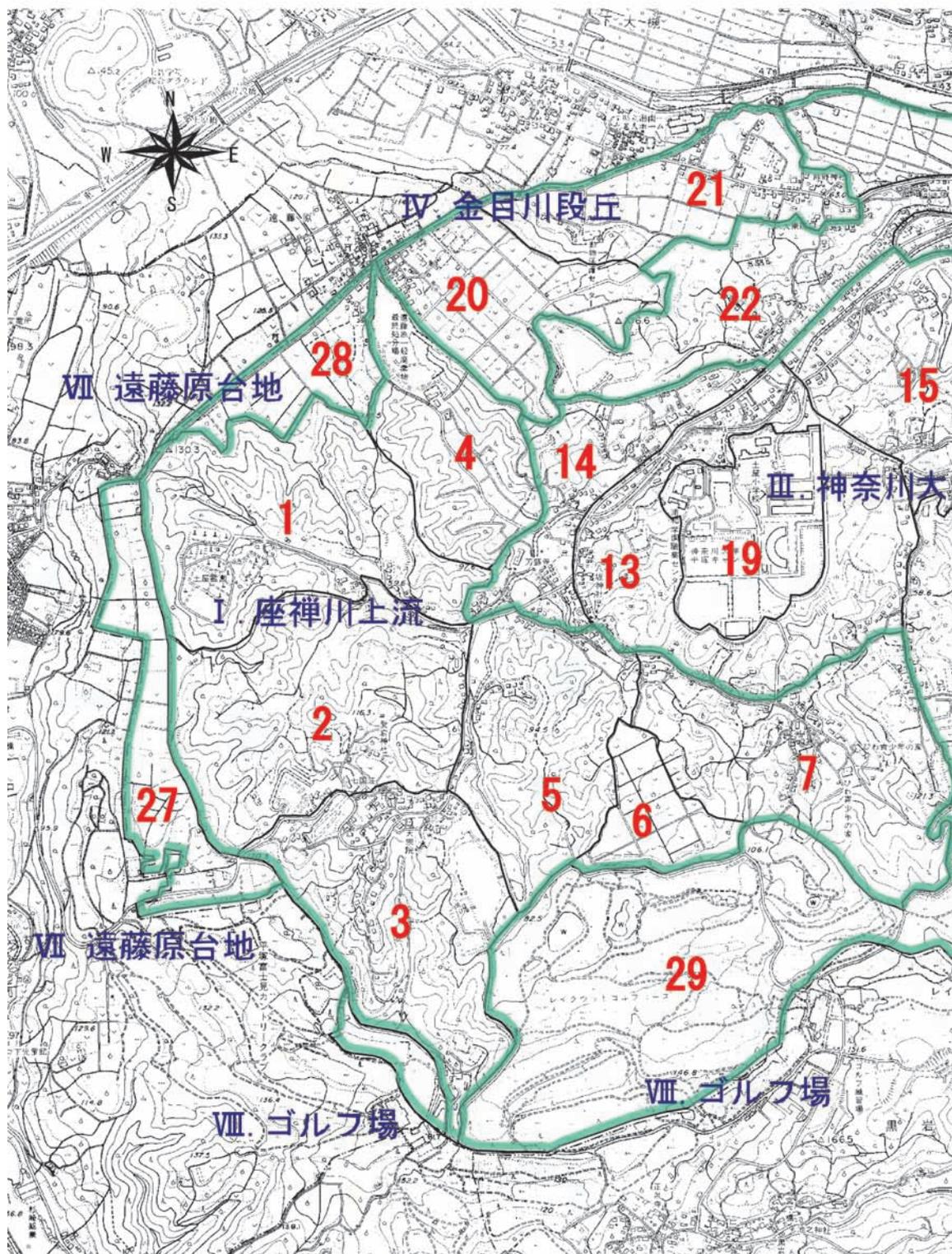


8.2 各地区の調査結果の詳細

自然環境評価の基となった、調査結果の概要を地区別に整理しました。81 ページより、大地区 I（座禅川上流）の結果、次に大地区 I に含まれる小地区の順に、自然評価の総括と、場、緑の質、生物の評価内容、調査結果について記載しました。

また、西部丘陵地域の地区区分は下記地形図のとおりです。

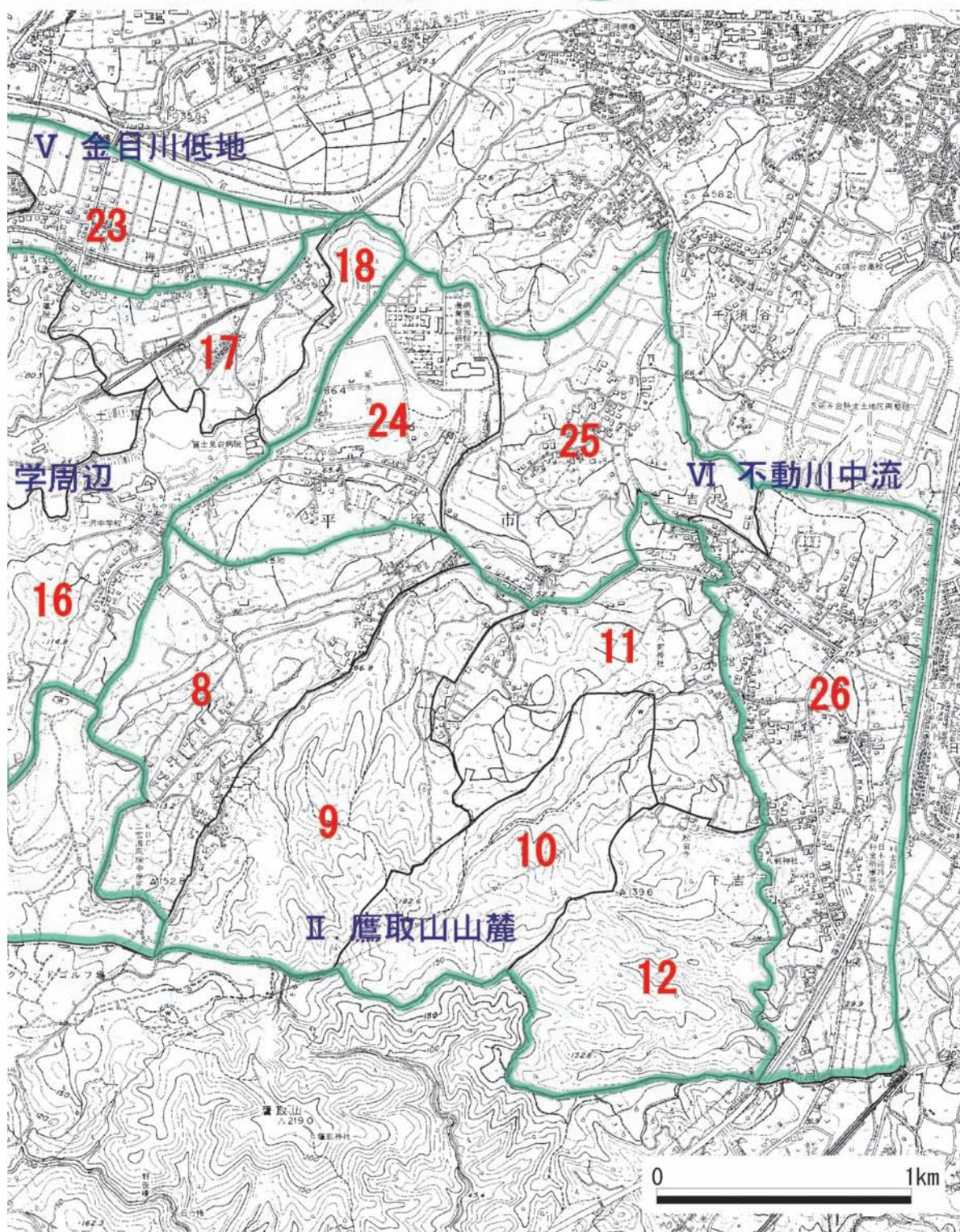


I~VIII 大地区名

1~29 小地区名

○ 大地区境界

○ 小地区境界

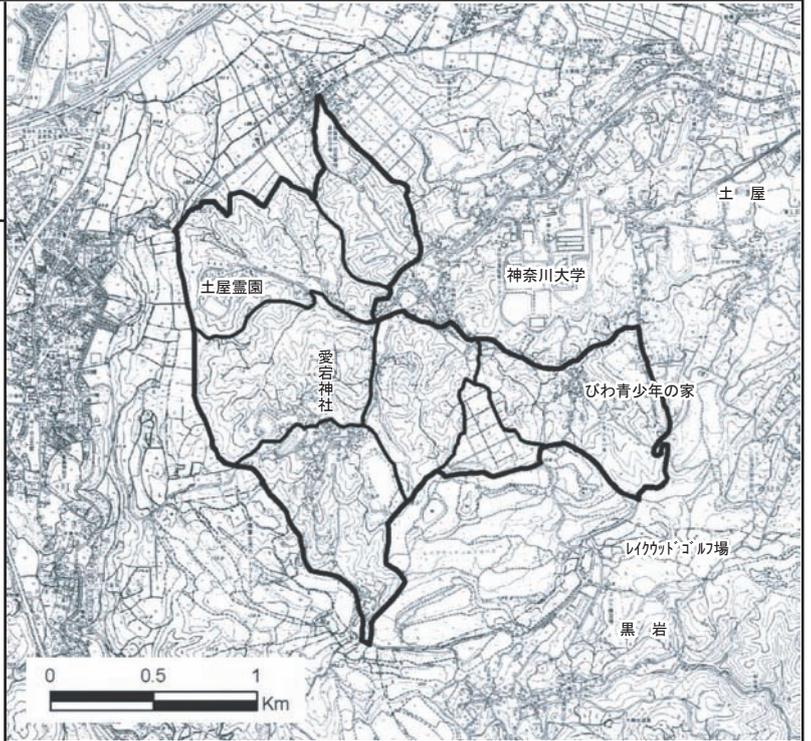
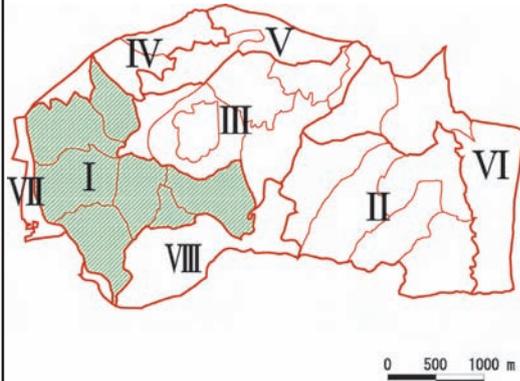


大地区 I 座禅川上流

【評価】

自然	場	緑の質	生物
A	A	A	A

【地区位置】



愛宕山北側の谷戸 2004年10月15日撮影



土屋の雑木林 2004年10月15日撮影

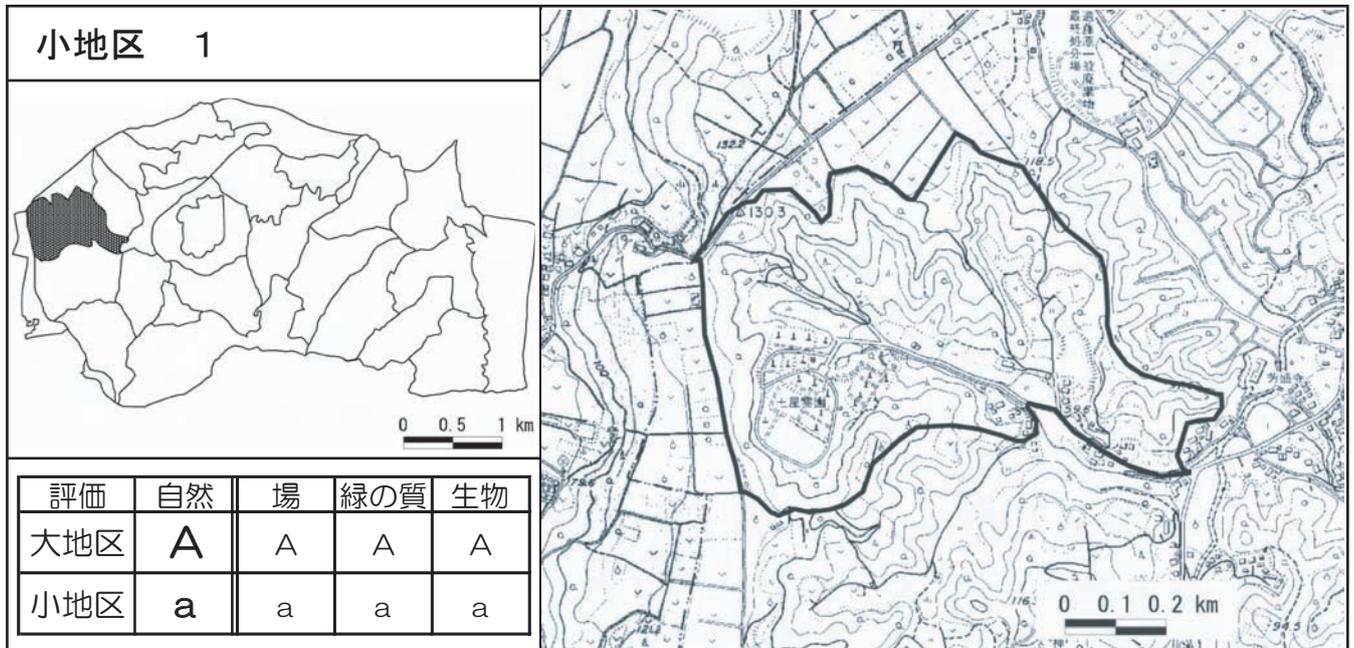


遠藤原一般廃棄物処分場からみた風景

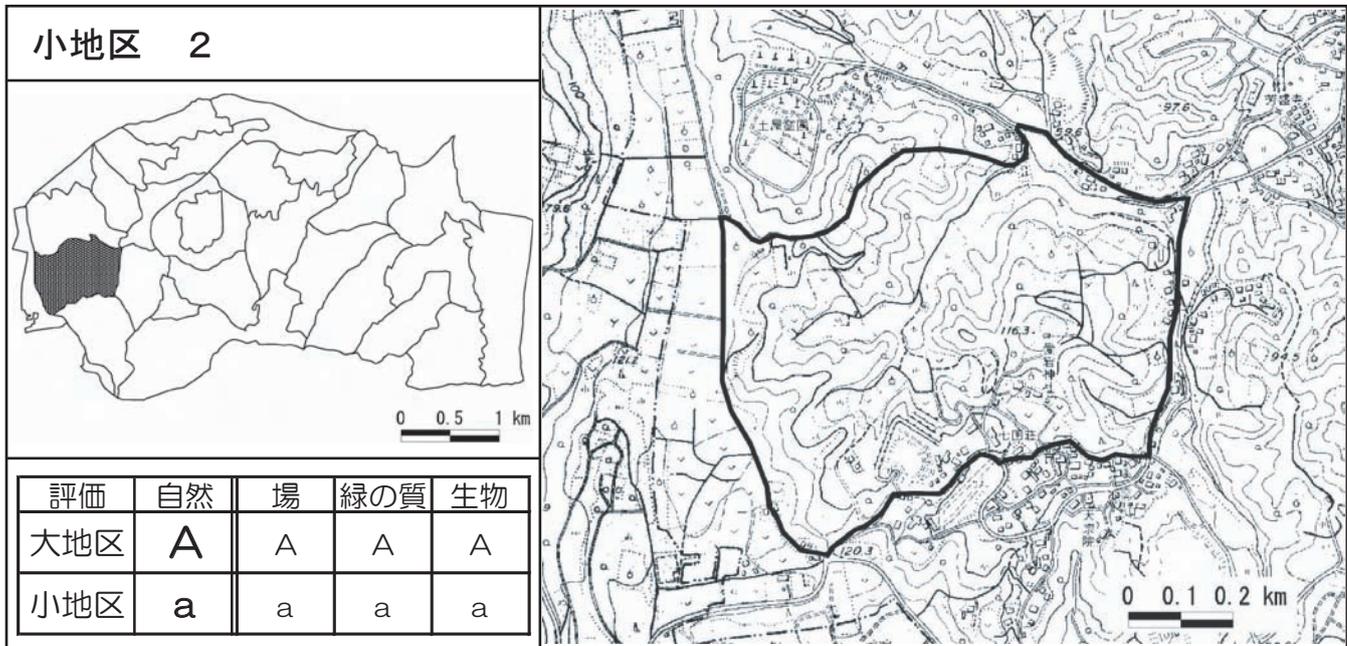


びわわ青少年の家西側の水田 2004年4月27日撮影

	内 容
総 評	<p>愛宕山周辺のまとまりのある樹林と、駒ヶ滝付近の谷戸の水田が混在した環境である。斜面には二次林が広がり、林床の管理されたコナラ林も多くみられる。樹林と水田がセットで存在している環境を反映して、樹林、水田、草地の指標種が豊富に生息、生育している。鷹取山山麓地区と並び、調査地域の中でも特に良好な里山の自然が残されている。</p>
場	<p>座禅川の集水域であり、水系と開析谷斜面のまとまりある樹林がセットで存在しており、鷹取山と並び地域の緑の中核となっている。</p>
緑の質	<p>【植物群落】 コナラ群落（林床低木型）、コナラ群落（林床ササ密生型）、スギ植林、畑地がおもに分布し、これより少ないが、コナラ群落（林床開放型）、果樹園、水田、谷戸の水田などが分布している。小面積ながら、自然植生のスタジイ群落が存在し、谷戸の低地にはヨシ群落、水田放棄植物群落などの湿性植物群落や水田が樹林に接して分布する。</p> <p>【水系】 谷戸に沿って護岸されていない河川、素掘り水路がおもにみられるが、住宅地では三面張りの護岸河川がみられる。一部に、水際のみ護岸された河川がみられる。駒ヶ滝が存在している。</p>
生 物	<p>【植物】 キンラン、フデリンドウ、エビネ、ギンラン、ササバギンラン、ヤブコウジ、ヤブツバキ、マンリョウ、キツネノボタン、ケキツネノボタン、タガラシ、カントウタンポポ、セイヨウタンポポ</p> <p>【鳥類】 オオルリ、キビタキ、アオゲラ、ヤブサメ、イカル、ヤマガラ、コゲラ、ウグイス、エナガ、メジロ、オオヨシキリ、ヒバリ、キジ、キセキレイ、ハクセキレイ、オオタカ、ノスリ、サシバ</p> <p>【両生類】 ニホンアカガエル、ヤマアカガエル、シュレーゲルアオガエル</p> <p>【昆虫類】 ゲンジボタル、ハイケボタル、クロカナブン、トビナナフシ、ジャコウアゲハ、シマアメンボ、オニヤンマ、オナガササキリ</p> <p>【魚類】 ホトケドジョウ、アブラハヤ、シマヨシノボリ、ドジョウ</p> <p>※トンボ（トンボ班の調査で確認された種） ヒガシカワトンボ、シオヤトンボ、ヤマサナエ、オニヤンマ、カトリヤンマ、オオシオカラトンボ、シオカラトンボ、アキアカネ、ヒメアカネ、マユタテアカネ</p>

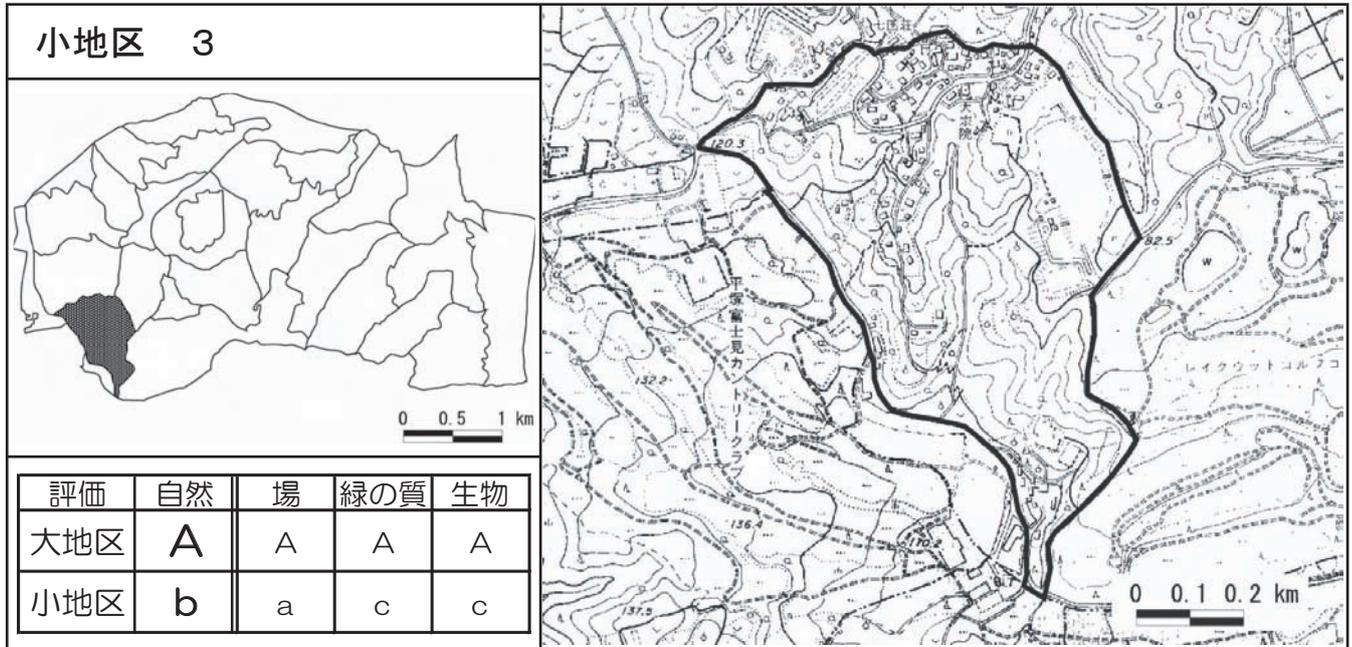


内 容	
総 評	<p>座禅川集水域のまとまりある樹林は、地域の緑の中核となっている。斜面には二次林が広がり、管理されたコナラ群落（林床開放型）もまとまってみられ、低地には湿性植物群落や水田が分布する。樹林と水辺がセットで存在している環境を反映して、樹林、水辺、草地の指標種が豊富に生息、生育している。調査地域の中でも特に良好な里山としての自然が残されている。</p>
場	<p>座禅川の集水域であり、水系と開析谷斜面のまとまりある樹林がセットで存在しており、地域の緑の中核となっている。</p>
緑の質	<p>【植物群落】 おもにコナラ群落（林床開放型）、コナラ群落（林床低木型）、コナラ群落（林床ササ密生型）、スギ植林、モウソウチク・マダケ林、陽性低木群落、アズマネザサ群落、ススキ群落、伐採跡地、ヨシ群落、果樹園、苗木畑、樹木植栽地、水田放棄植物群落、谷戸の水田、畑放棄植物群落、畑地が分布する。 【水系】 谷戸の源頭部^{*26}や水田沿いに、護岸されていない河川と素掘り水路が分布している。駒ヶ滝が存在している。</p>
生 物	<p>【植物】 キンラン、フデリンドウ、ギンラン、ササバギンラン、ヤブコウジ、マンリョウ、キツネノボタン、ケキツネノボタン、カントウタンポポ、セイヨウタンポポ 【鳥類】 キビタキ、アオゲラ、ヤマガラ、コゲラ、ウグイス、エナガ、メジロ、オオヨシキリ、ヒバリ、キジ、キセキレイ、ハクセキレイ、オオタカ、ノスリ、サシバ 【両生類】 ニホンアカガエル、ヤマアカガエル、シュレーゲルアオガエル 【昆虫類】 ゲンジボタル、ハイケボタル、クロカナブン、ジャコウアゲハ、シマアメンボ、オニヤンマ、オナガササキリ 【魚類】 ホトケドジョウ ※トンボ（トンボ班の調査で確認された種） ヒガシカワトンボ、シオヤトンボ、ヤマサナエ、オニヤンマ、カトリヤンマ、シオカラトンボ、アキアカネ、ヒメアカネ</p>

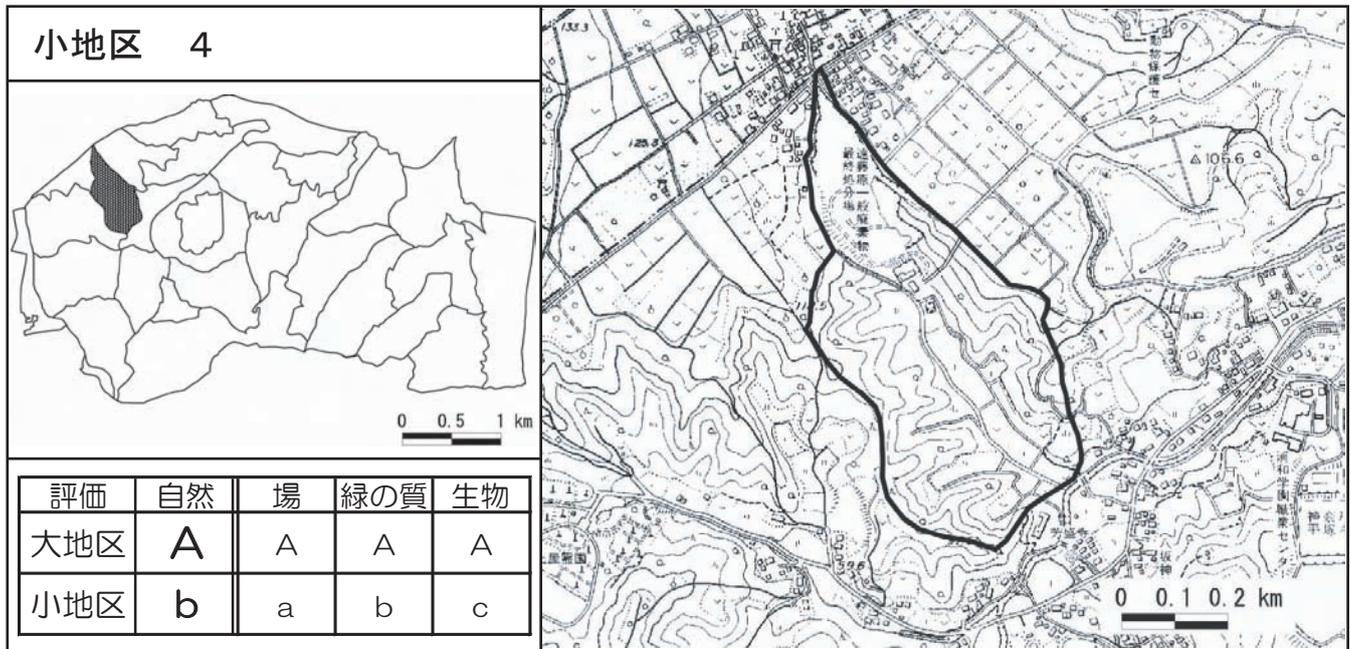


内 容	
総 評	<p>座禅川集水域のまとまりある樹林は、地域の緑の中核となっている。</p> <p>斜面には二次林が広がり、低地には湿性植物群落や水田が分布する。樹林と水辺がセットで存在している環境を反映して、生息にまとまりある多様な環境を必要とする猛禽類をはじめ、樹林、水辺、草地の指標種が豊富に生息、生育している。調査地域の中でも特に良好な里山としての自然が残されている。</p>
場	<p>座禅川の集水域であり、水系と開析谷斜面のまとまりある樹林がセットで存在しており、地域の緑の中核となっている。</p>
緑の質	<p>【植物群落】 おもにコナラ群落（林床開放型）、コナラ群落（林床低木型）、コナラ群落（林床ササ密生型）、ムクノキーケヤキ群落、スギ植林、モウソウチク・マダケ林、陽性低木群落、アズマネザサ群落、ススキ群落、ヨシ群落、伐採跡地、果樹園、水田放棄植物群落、谷戸の水田、畑放棄植物群落、畑地が分布する。</p> <p>【水系】 谷戸の源頭部や水田沿いに、護岸されていない河川と素掘り水路が分布している。</p>
生 物	<p>【植物】 キンラン、ギンラン、ササバギンラン、マンリョウ、キツネノボタン、ケキツネノボタン、カントウタンポポ、セイヨウタンポポ</p> <p>【鳥類】 キビタキ、アオゲラ、ヤブサメ、イカル、ヤマガラ、コゲラ、ウグイス、エナガ、メジロ、オオヨシキリ、ヒバリ、ハクセキレイ、オオタカ、ノスリ、サシバ</p> <p>【両生類】 ニホンアカガエル、ヤマアカガエル、シュレーゲルアオガエル</p> <p>【昆虫類】 ゲンジボタル、ハイケボタル、クロカナブン、シマアメンボ、オニヤンマ、オナガササキリ</p> <p>【魚類】 ホトケドジョウ、アブラハヤ、シマヨシノボリ、ドジョウ</p> <p>※トンボ（トンボ班の調査で確認された種）</p> <p>ヒガシカワトンボ、シオヤトンボ、ヤマサナエ、オニヤンマ、オオシオカラトンボ、シオカラトンボ、アキアカネ、マユタテアカネ</p>

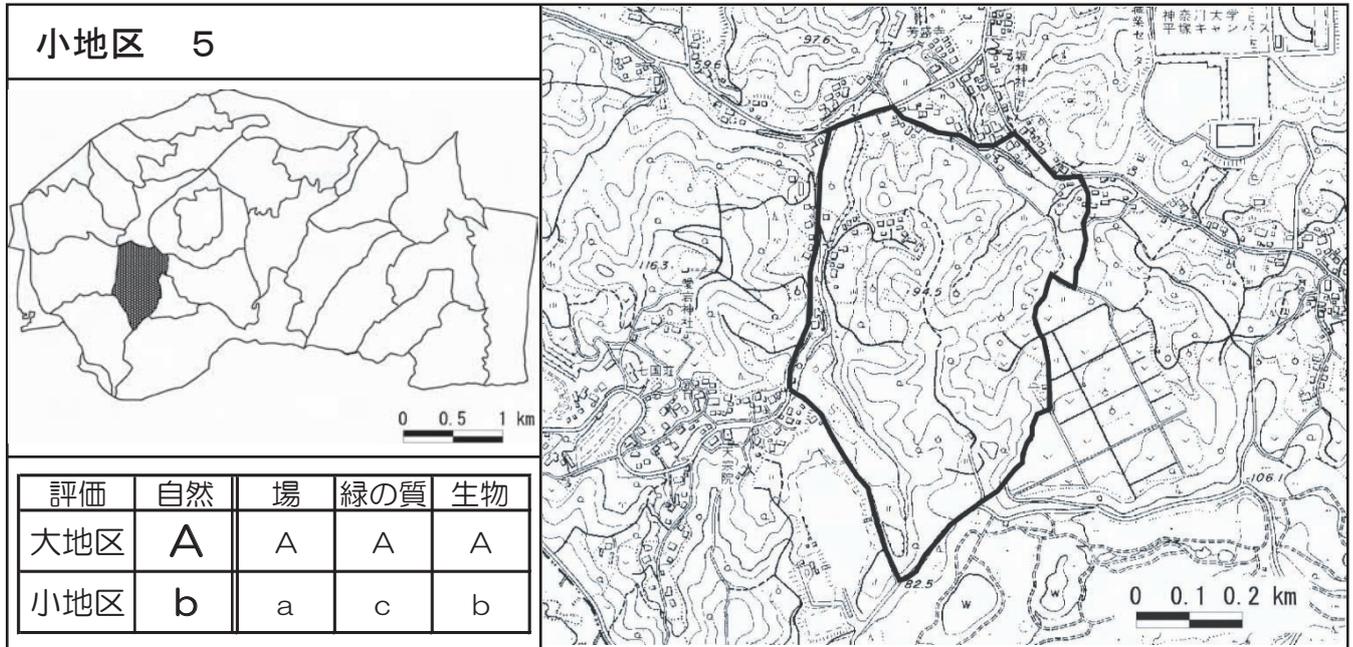
*26 源頭部：谷や河川の最上流部のこと。



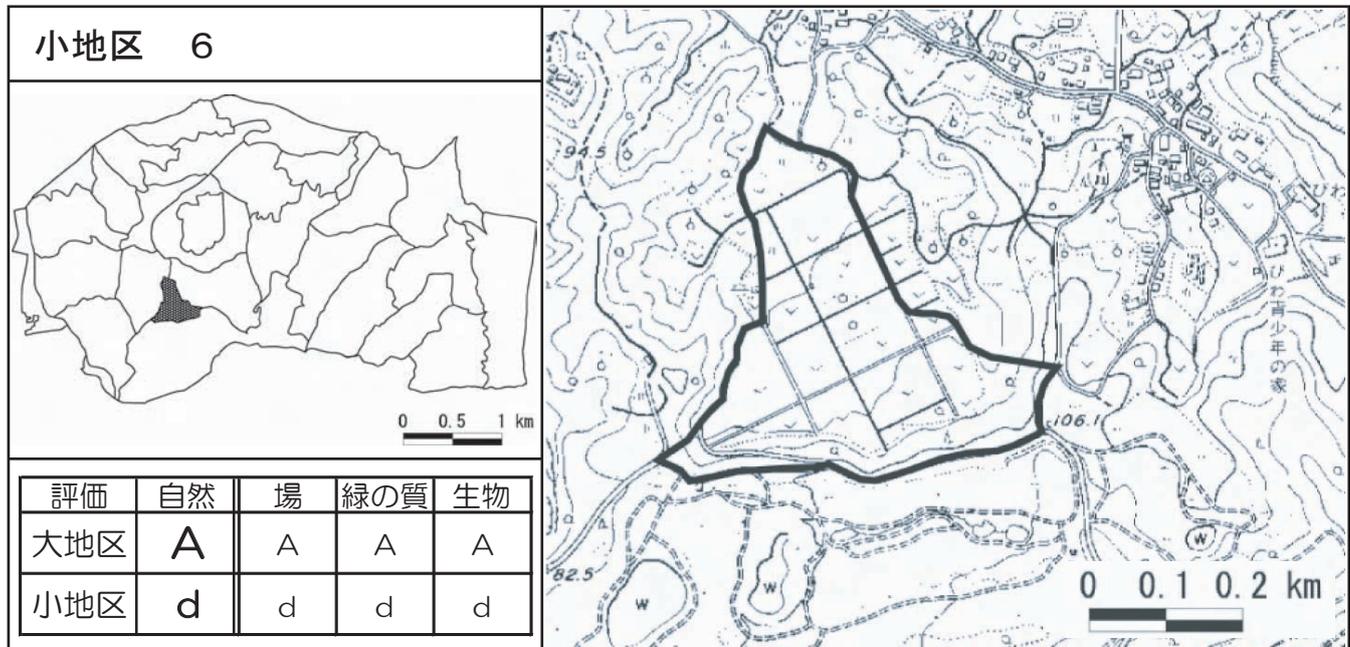
内 容	
総 評	<p>座禅川集水域のまとまりある樹林は地域の緑の中核となっている。</p> <p>斜面には二次林が広がり、小規模な谷戸の低地には、水田放棄植物群落やヨシ群落などの湿性植物群落もみられる。樹林、水辺、草地の指標種が生息、生育しており、比較的良好な里山の自然が残されている。</p>
場	<p>座禅川の集水域であり、丘陵斜面にまとまりある樹林が存在しており、地域の緑の中核となっている。</p>
緑の質	<p>【植物群落】</p> <p>おもにコナラ群落（林床開放型）、コナラ群落（林床低木型）、コナラ群落（林床ササ密生型）、スギ植林、モウソウチク・マダケ林、陽性低木群落、アズマネザサ群落、ススキ群落、ヨシ群落、果樹園、水田放棄植物群落、水田、畑放棄植物群落、畑地が分布する。</p> <p>【水系】</p> <p>おもに護岸河川とU字溝が存在し、住宅地に護岸河川（三面張り）が分布している。</p>
生 物	<p>【植物】</p> <p>キンラン、エビネ、ギンラン、ササバギンラン、ヤブコウジ、マンリョウ、カントウタンポポ、セイヨウタンポポ</p> <p>【鳥類】</p> <p>オオルリ、キビタキ、ヤマガラ、コゲラ、ウグイス、メジロ、オオタカ、ノスリ、サシバ</p> <p>【両生類】</p> <p>シュレーゲルアオガエル</p> <p>【昆虫類】</p> <p>オニヤンマ</p>



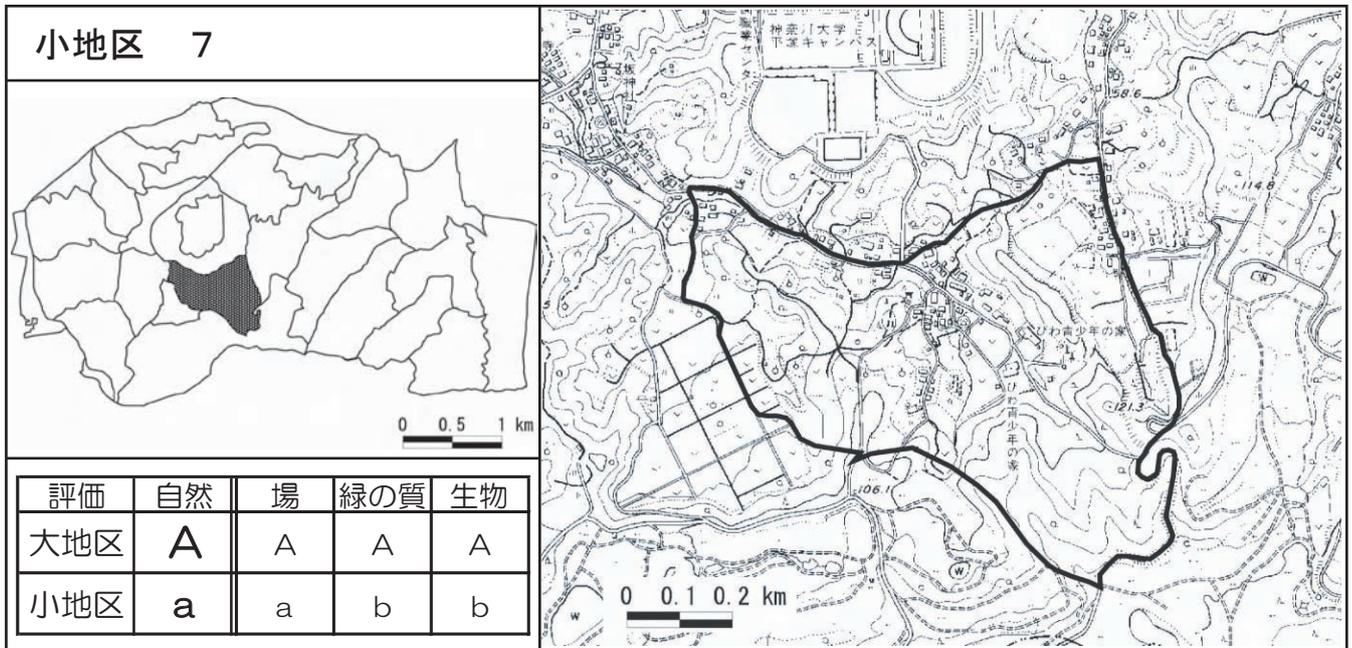
内 容	
総 評	<p>源頭部に処分場が存在するものの、開析谷斜面にまとまりある樹林が存在しており、地域の緑の中核となっている。</p> <p>斜面には二次林が広がり、谷戸の低地には、水田放棄植物群落や水田が分布する。樹林、水辺、草地の指標種が生息、生育しており、比較的良好な里山の自然が残されている。</p>
場	<p>座禅川上流の集水域であり、開析谷斜面のまとまりある樹林が存在しており、地域の緑の中核となっている。</p>
緑の質	<p>【植物群落】</p> <p>おもにコナラ群落（林床開放型）、コナラ群落（林床低木型）、コナラ群落（林床ササ密生型）、スギ植林、モウソウチク・マダケ林、陽性低木群落、ススキ群落、伐採跡地、果樹園、水田放棄植物群落、谷戸の水田、畑地が分布する。</p> <p>【水系】</p> <p>おもに護岸河川が存在するが、谷戸の水田沿いには護岸されていない河川と素掘り水路が分布している。</p>
生 物	<p>【植物】</p> <p>キンラン、ギンラン、ヤブコウジ、キツネノボタン、カントウタンポポ、セイヨウタンポポ</p> <p>【鳥類】</p> <p>アオゲラ、コゲラ、ウグイス、ヒバリ、オオタカ、ノスリ、サシバ</p> <p>【両生類】</p> <p>ニホンアカガエル、ヤマアカガエル、シュレーゲルアオガエル</p> <p>【昆虫類】</p> <p>オニヤンマ、オナガササキリ</p> <p>※トンボ（トンボ班の調査で確認された種）</p> <p>シオヤトンボ</p>



内 容	
総 評	<p>丘陵斜面にまとまりのある樹林が存在しており、地域の緑の中核となっている。</p> <p>斜面には二次林が広がり、小規模な谷戸の低地には、水田放棄植物群落や水田もみられる。樹林、水辺、草地の指標種が生息、生育しており、比較的良好な里山の自然が残されている。</p>
場	座禅川の集水域であり、丘陵斜面にまとまりのある樹林が存在しており、地域の緑の中核となっている。
緑の質	<p>【植物群落】</p> <p>おもにコナラ群落（林床ササ密生型）、コナラ群落（林床低木型）、コナラ群落（林床開放型）、ムクノキケヤキ群落、スギ植林、モウソウチク・マダケ林、陽性低木群落、アズマネザサ群落、伐採跡地、果樹園、水田放棄植物群落、水田、谷戸の水田、畑放棄植物群落、畑地が分布する。</p> <p>【水系】</p> <p>護岸河川と片側護岸河川が大半を占め、わずかに素掘り水路がみられる。</p>
生 物	<p>【植物】</p> <p>ヤブコウジ、ヤブツバキ、マンリョウ、キツネノボタン、カントウタンポポ、セイヨウタンポポ</p> <p>【鳥類】</p> <p>アオゲラ、ヤマガラ、コゲラ、エナガ、メジロ、オオタカ、ノスリ、サシバ</p> <p>【両生類】</p> <p>ヤマアカガエル、シュレーゲルアオガエル</p> <p>【昆虫類】</p> <p>トビナナフシ、ジャコウアゲハ、オニヤンマ、オナガササキリ</p> <p>【魚類】</p> <p>ホトケドジョウ、アブラハヤ、シマヨシノボリ、ドジョウ</p>



内 容	
総 評	畑地で占められており、生物も草地の指標種が主体である。
場	畑地が主体であるが、東西の中核となる緑地をつなぐ位置にある。
緑の質	<p>【植物群落】 大部分が畑地で占められ、隣接地区との境界部にコナラ群落が帯状に分布する。</p> <p>【水系】 無し。</p>
生 物	<p>【植物】 カントウタンポポ、セイヨウタンポポ</p> <p>【鳥類】 コゲラ、ウグイス、メジロ、ヒバリ、ハクセキレイ、オオタカ、ノスリ、サシバ</p> <p>【昆虫類】 オニヤンマ、オナガササキリ</p>



内 容	
総 評	<p>丘陵斜面にまとまりのある樹林が存在しており、地域の緑の中核となっている。</p> <p>斜面には二次林が広がり、生息にまとまりのある多様な環境を必要とする猛禽類をはじめ、樹林、水辺、草地の指標種が生息、生育しており、里山の自然が残されている。</p>
場	<p>丘陵斜面にまとまりのある樹林が存在しており、地域の緑の中核となっている。</p>
緑の質	<p>【植物群落】</p> <p>おもに畑地、モウソウチク・マダケ林、コナラ群落（林床低木型）、スギ植林が分布している。</p> <p>小面積ながら自然植生のスタジイ群落が分布する。</p> <p>【水系】</p> <p>おもに護岸河川が存在するが、水田沿いや谷戸の源頭部に素掘り水路と護岸されていない河川がみられる。</p>
生 物	<p>【植物】</p> <p>キンラン、ギンラン、ササバギンラン、ヤブコウジ、マンリョウ、キツネノボタン、タガラシ、カントウタンポポ、セイヨウタンポポ</p> <p>【鳥類】</p> <p>キビタキ、ヤマガラ、コゲラ、メジロ、キセキレイ、オオタカ、ノスリ</p> <p>【両生類】</p> <p>ニホンアカガエル、ヤマアカガエル、シュレーゲルアオガエル</p> <p>【昆虫類】</p> <p>ハイケボタル、オニヤンマ、オナガササキリ</p> <p>【魚類】</p> <p>ホトケドジョウ、ドジョウ</p>



■指標種の生息環境イメージ

※座禅川で確認された全ての種やグループが掲載されているわけではありません。